

「前近代史爆走」例題＜１＞

３年（ ）組（ ）番（ ）

＜時代順問題の語群は共通＞

①	I－Ⅱ－Ⅲ	②	I－Ⅲ－Ⅱ	③	Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④	Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ	⑤	Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ	⑥	Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

（2010年度 追試験 日本史B）第1講

問1 原始・古代の社会に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 周囲に濠(ほり)をめぐらせた豪族の居館が、一般の人々の住む集落から離れて造られるようになった。
- Ⅱ 戦いのための金属製の武器が出現した。
- Ⅲ 石器の材料として黒曜石が遠隔地から運搬されるようになった。

（2018年度 本試験 日本史B）第1講

問2 ヤマト政権(倭)と朝鮮半島との関係に関して述べたと次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 新羅と結んだ筑紫国造磐井が、大規模な反乱を起こした。
- Ⅱ 朝鮮半島での立場を有利にするため、倭の五王が中国へ朝貢した。
- Ⅲ 朝鮮半島に渡った倭の兵が、好太王(広開土王)に率いられた高句麗の軍隊と交戦した。

（2018年度 追試験 日本史B）第1講

問3 日本古代の外交使節に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 中国から帰国した僧の玄昉が、中央政界で活躍した。
- Ⅱ 外交使節の受け入れや軍事・西海道統治の拠点として、大宰府がおかれた。
- Ⅲ 小野妹子らの持参した国書の内容が、中国の皇帝を怒らせた。

（2017年度 本試験 日本史B）第1講

問4 8世紀から9世紀にかけての政治抗争に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 造都を主導していた藤原種継が暗殺され、早良親王が首謀者として処罰された。
- Ⅱ 三筆の一人として知られる橘逸勢が、謀反を企てたとして流罪になった。
- Ⅲ 政権を批判して九州で反乱を起こした藤原広嗣が敗死した。

(2010年度 本試験 日本史B) 第1講

問5 9世紀以後の政治構造の変化に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 天皇が幼少のときには摂政、成人したのちには関白をおくことが通例となった。
- Ⅱ 院の命令を伝える文書や院庁が出す文書が、荘園の認可などの国政に大きな効力をもつようになった。
- Ⅲ 天皇の側近として、天皇の命令をすみやかに太政官に伝える蔵人頭が設けられた。

(2006年度 本試験 日本史B) 第2講

問6 鎌倉と京都の間の交渉に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 『新古今和歌集』が編纂され、鎌倉の将軍のもとに届けられた。
- Ⅱ 御成敗式目が制定され、京都の幕府出先機関に送られた。
- Ⅲ 鎌倉で平頼綱が滅ぼされ、その知らせが数日のうちに京都に伝わった。

(2007年度 追試験 日本史B) 第2講

問7 桓武平氏に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 平清盛が、厳島神社に数多くの経典を奉納した。
- Ⅱ 平将門が、関東で乱を起こした。
- Ⅲ 『平家物語』が、琵琶法師によって広く民間に伝えられた。

(2010年度 本試験 日本史B) 第2講

問8 室町時代の戦乱に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、①～④のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 細川勝元と山名持豊の対立が、大きな戦乱に発展した。
- Ⅱ 周防国など6か国の守護を兼任していた大内義弘が、討たれた。
- Ⅲ 将軍による守護への弾圧に危機感を抱いた赤松満祐が、将軍を殺害した。

(2005年度 追試験 日本史B) 第2講

問9 次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 九州にいた懷良親王は、明の皇帝と外交関係を持った。
- Ⅱ 大内氏の滅亡により、勘合貿易が断絶した。
- Ⅲ 尚巴志が琉球王国を建国し、室町幕府と通交関係を結んだ。

「前近代史爆走」例題<2>

3年()組()番()

(2012年度 追試験 日本史B) 第2講

問10 荘園制(荘園公領制)の成立と展開に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 領主は荘園の管理を地頭にまかせ、年貢納入を請け負わせる契約を結んだ。
- Ⅱ 鳥羽上皇のもとに荘園の寄進が集中し、膨大な天皇家領荘園群ができた。
- Ⅲ 朝廷は、延久の荘園整理令を発布し、荘園の所有者から証拠文書を提出させた。

(2011年度 本試験 日本史B) 第2講

問11 寺院と国家の関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 開発領主のなかに、国司の圧迫を逃れようとして有力寺院などに田地を寄進する者が現れるようになった。
- Ⅱ 有力寺院が下級僧侶を僧兵に組織し、神木や神輿を押し立てて、自分たちの要求を通すため朝廷に強訴するようになった。
- Ⅲ 有力寺院の初期荘園が、律令制的支配の衰えとともに衰退していった。

(2014年度 本試験 日本史B) 第3講

問12 近世の印刷物に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 宣教師が伝えた活字印刷術によって、天草版(キリシタン版)が作られた。
- Ⅱ 『日本永代蔵』などの、浮世草子とよばれる小説が著された。
- Ⅲ 喜多川歌麿が、多色刷の浮世絵版画(錦絵)の絵師として活躍した。

(2012年度 追試験 日本史B) 第3講

問13 幕府と朝廷との関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 後水尾天皇が事前に幕府と相談せず、徳川秀忠の孫の明正天皇に譲位した。
- Ⅱ 光格天皇が実父に尊号を贈りたいと望んだが、老中松平定信はこれを拒否し、関与した公家を処罰した。
- Ⅲ 新井白石の進言などにより、閑院宮家が創設された。

(2014年度 追試験 日本史B) 第3講

問14 幕府の貨幣政策に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを一つ選べ。

- Ⅰ 錢座を設け、寛永通宝の鑄造を開始した。
- Ⅱ 荻原重秀の意見をもとに、品質を落とした金銀貨幣を発行した。
- Ⅲ 計数貨幣として金貨と同様に通用する、南鐐二朱銀を発行した。

(2013年度 本試験 日本史B) 第3講

問15 次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 幕府は、江戸の石川島に人足寄場を設け、無宿人を収容した。
- Ⅱ 大坂町奉行所の元与力で、陽明学者の大塩平八郎が乱を起こした。
- Ⅲ 幕府は、関東取締出役を設け、犯罪者の取締りにあたらせた。

(2011年度 追試験 日本史B) 第3講

問16 中世から近世にかけての荘園や村の支配に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 村では、本百姓が名主(庄屋・肝煎)・組頭・百姓代などをつとめ、年貢の納入は村の責任とされた。
- Ⅱ 荘園の管理を任された地頭は、一定額の年貢納入を請け負うようになった。
- Ⅲ 半済令によって守護は、年貢を荘園領主と折半し、それを配下の武士に分け与えることを認められた。

(2020年度 追試験 日本史B) 第3講

問17 動物を取り込んだ作品に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 動物を擬人化して当時の社会を風刺した『鳥獣戯画』が描かれた。
- Ⅱ 「見ざる言わざる聞かざる」の三猿などで知られる日光東照宮が造られた。
- Ⅲ 狩野永徳が、障壁画の代表作『唐獅子図屏風』を描いた。

<時代順問題の語群は共通>

① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ	② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ	③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ	⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ	⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ